

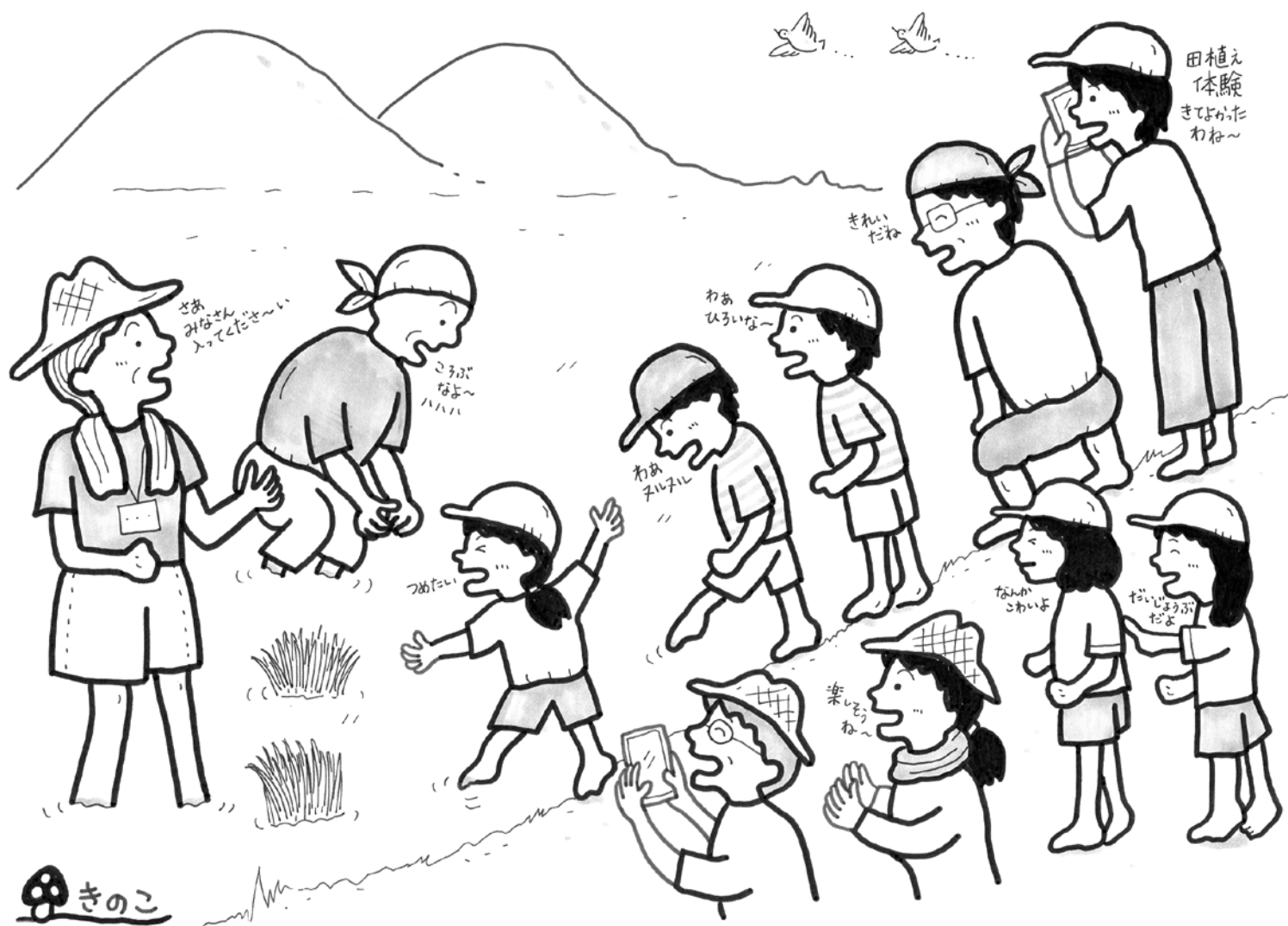
みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2017
vol.239

毎月1日発行

4月号

杜の伝言板 ゆるる 月刊



- 地域で守り、地域で育てる豊かな自然 NPO法人田んぼ
- 栗原のまちづくり・地域づくり NPO法人Azuma-re
- 「7年目を迎えた石巻の就労課題とこれから」～若者支援の現場から～ 認定NPO法人Switch

みやぎNPOプラザからのお知らせ

ボランティアと一緒に仲間の輪を広げよう！

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



地域で守り、

地域で育てる豊かな自然

NPO法人田んぼ

先日、農林水産省が認定する「日本農業遺産」に大崎市など一市四町にまたがる大崎耕土が選ばれました。また、同地域を「世界農業遺産」登録への認定に向けて申請するというニュースが大大的に報道されています。大崎耕土の世界農業遺産登録に向けては、行政、農家、学校、企業、NPOなど、多くの関係機関が協力体制を作っており、その関係機関の一つにNPO法人田んぼがあります。

NPO法人田んぼは、大崎市田尻大貫地区に拠点を置き、人と自然が共生できる地域づくりを目的として、「ふゆみずたんぼ」という稲作農法を核に、生物多様性の保全活動を行っている団体です。

●●● マガンと「ふゆみずたんぼ」 ●●●

大崎市は全国的に見てもマガンが飛来する数少ない地域の一つです。日本に飛来するマガンの八割以上が栗原市・登米市にまたがる伊豆沼・内沼と大崎市の蕪栗沼、化女沼で越冬していると言われています。しかし、飛来地が一極集中するようになつたことで、マガンの糞によって沼の水質が悪化したり、周辺の米をマガンが食べてしまう被害も多発したりしました。

そこでマガンのねぐらの分散を図るために導入されたのが、「ふゆみずたんぼ」です。

「ふゆみずたんぼ」とは、近代的な稲作では行わなくなつてしまつた冬期の湛水を行う農法のことです。冬の間も田んぼに水が張られていることで、イトミミズや微生物が活動しやすい環境が保たれ、土壌が豊かになります。そのため、「ふゆみずたんぼ」では有機栽培や、究極の場合には、無施肥の稲作が可能となります。

平成十五年頃から、蕪栗沼周辺の水田ではこの「ふゆみずたんぼ」が導入され、マガンも蕪栗沼だけでなく周辺水田にも数多く飛来するようになりました。この取組みをきっかけに、水田が持つ湿地としての生物多様性向上の機能が見直され、平成十七年には「蕪栗沼・周辺水田」がラムサール条約登録湿地となりました。

このとき、「ふゆみずたんぼ」の導入と技術確立に寄与したのが、NPO法人田んぼの前身の「ふゆみずたんぼプロジェクト」でした。

●●● 田んぼの復興にも活用 ●●●

NPO法人田んぼは平成十八年に法人として設立されて以降、拠点である田尻だけでなく、沿岸部の津波被災水田など、大崎市外でも「ふゆみずたんぼ」の普及を進めてきました。

とくに津波が浸水した水田では、「ふゆみずたんぼ」を実施するにあたって、水質・土質・生物などのモニタリングを行っていました。その結果、「ふゆみずたんぼ」には抑塩効果があることがわかり、また、水田の復旧後には米の収量が被災前に比べて増加したことも確認できました。

被災した水田を復旧させるだけでなく、沿岸地域に伝わっていた「津波の後の田んぼは良くなる」という言い伝えを実証することにもなつたのです。

こうした活動が評価され、平成二十五年には公益財団法人イオン環境財団が主催した「第三回生物多様性日本アワード」のグランプリを受賞しました。

●●● 客観的に生物文化多様性示す ●●●

このように「ふゆみずたんぼ」の



▲ 気仙沼大谷の被災水田の復興作業

普及啓発に努めてきましたが、現在人は人と自然が共生できる地域社会のあり方を求めて、さらに一歩歩みを前に進めています。

それが『生物文化多様性の指標作り』です。これは特定の生物群（クモ類やトンボ類など）がその地域に生息できているかどうかといった十二項目の指標を作り、その指標にもとづいて点数をつけていくことで、ある地域の生物文化多様性を土の指標、景観の指標、減農薬・無農薬の指標の三つの視点から客観的に示すことができるというものです。

NPO法人田んぼはこの指標作りを大崎市と協働で進めており、昨年夏から一年間、大崎耕土に該当する大崎市、美里町、涌谷町、加美町、色麻町の各地の生きもの調査を行ってきました。このような指標は他に例がなく、理事長の岩淵成紀さんは「完成すれば世界初になるのでは」と話しています。



▲理事長の岩淵さん

子どもたちと創る地域の未来

もう一つ、NPO法人田んぼの

活動として忘れてはならないのが、地元の大貫小学校との協働です。

種を蒔いてから、米が食べられるようになるまで、稲作には多くのプロセスがあります。



▲丁寧に手植えしていきます

種まき、代掻き、田植え、除草、稲刈り、脱穀、選別、収穫祭といった具合です。NPO法人田んぼでは、これらの全ての過程を大貫小学校の五年生児童に毎年体験してもらっています。

この地元小学校での取り組みについて、岩淵さんは次のような思いを持っています。「地域の未来は地域の子どもたちが創ります。私たちは大貫という地域が好きだから、この地で営まれてきた稲作が、人と自然が共生し得る形で続いていってほしいと望んでいます。だからこそ、将来の地域の担い手である子どもたちにその思いを伝えていかなければいけないのです」。

仙台の子どもたちにも体験チャンス

NPO法人田んぼは今年、仙台市に住む子どもたちとその親たちにも、こうした「ふゆみずたんぼ」の取り組みを体験してもらうイベントを開催予定です。

一回目のイベントは、六月四日（日）に行う「ふゆみずたんぼ」の代掻き・田植え・生きもの調査です。代掻きは昨年までは、人の手だけで行ってきましたが、今年は農耕馬が登場します。

日頃、田んぼやそこに棲む生きものと疎遠な都市部の子どもたちに、馬と一緒に田んぼの中で泥だらけになって、遊びながら自然の素晴らしさを体験してもらいます。二回目は秋に開催する稲刈りイベントです。刈った稲で穂仁王（ほんにょ）を組んでみるところまで体験します。穂仁王は稲を干すために組むものですが、イナゴやヤマキリなどの昆虫が穂仁王を利用して繁殖していることも学ぶことができます。

これらのイベントは「いきものが住みやすい環境づくり」をテーマに全国各地で開催されている「SAVE JAPAN プロジェクト」の一環として、NPO法人田んぼと認定NPO法人杜の伝言

板ゆるるの共催で実施します。

SAVE JAPAN プロジェクトの特徴は、現地のNPOだけでなく、協力団体として認定NPO法人日本NPOセンター、協賛団体として損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下、損保ジャパン日本興亜）が関わり、一般市民を対象とした体験型環境保全活動を行うことにあります。

そして、このプロジェクトは損保ジャパン日本興亜の新しい社会貢献スタイル（※）によって支えられています。

SAVE JAPAN プロジェクトの詳細については、左のHPもご覧ください。

※SAVE JAPAN プロジェクトは、損保ジャパン日本興亜から寄付をいただき実施しています。損保ジャパン日本興亜の自動車保険等のお客さまにご契約時、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことで、環境NPOなどへ寄付を行うものです。

SAVE JAPAN プロジェクト

「農耕馬と人による代掻きと芒種の田植えを体験しよう」
 ■日 時：6月4日（日）8:00～17:00
 ※仙台駅東口に集合し、現地へバスで移動
 ■場 所：ふゆみずたんぼ実験田（大崎市田尻大貫）
 ■参加対象：幼稚園年長児以上の子どもとその保護者
 ■参加費：無料（※ただし、昼食代は実費500円）
 ■持参物：長靴、タオル、帽子、着替え、水筒
 ■問合せ：npo@yururu.com
 SAVE JAPAN プロジェクトWEBサイト
<http://savejapan-pj.net/>

NPO法人田んぼ

〒989-4302 大崎市田尻大貫字荒屋敷29-1
 ●TEL/FAX：0229-39-3212
 ●E-mail：npotambo@yahoo.co.jp
 ●URL：http://npotambo.com/

栗原のまちづくり・地域づくり



NPO法人Azuma-re

代表理事

千葉 和義

栗原市は、宮城県の中北部にあり、北は岩手県、西は秋田県を境にもつ、県内の市で最大の面積を持つ、農業を始めた一次産業が盛んな地域です。国定公園の指定をもつ栗駒山や、ラムサール条約登録の伊豆沼など、大自然にめぐまれていきます。あまり知られていませんが、実は畜産も盛んで仙台牛の四割近くが栗原産だということを聞いていましたか？

また、栗原市は分散型の市とも言えます。二〇〇五年に十町村が合併して出来た市で、一万二千人規模の町が三つ・七千人規模の町が三つ・四千人規模の町が二つ、それ以下が二つ。そしてそれぞれの町村の中心地間は車で二十〜四十分の距離があり、広大な土地に十の中小規模の町が、点在しています。

街(地域コミュニティ)は人で形成されている

栗原市の統計によると栗原市の総人口は、二〇一一年から二〇一六年まで(五年間)で七五、七六〇人から七〇、五三〇人と、五、二三〇人減となり、年に約千人ずつ減り続けています。

しかし総人口が減ることは大きな問題ではありません。問題は〇歳〜六十四歳の人口です。これまでに年約一、三八〇人ずつ減り続け、六十五歳以上の人口は年に約三三五人ずつ増えています。

総人口の減少だけに目が行きがちですが、実はそれを上回る推移で〇歳〜六十四歳の人口が減り続けています。この現象は、昭和二十二年から二十四年生まれの団塊の世代が七十五歳以上となる八年後(二〇二五年)にピークを迎えると言われています。

現象がすすんで行くと社会・地域にどのような影響があるのでしょうか。すべての原因が減少によるものとは言えませんが、いま私が暮らしている地域で考えてみると、五十件ほどあった個人商店は今や八件となり、買物は隣地区の大型ショッピングセンターまで行かねばなりません。車で買い物にいけない高齢者は大変です。店がなくなったことで、日常で住民同士が挨拶や雑談するコミュニティの場もなくなり、盆踊りや地区の運動会が無くなり、住民同士が力を合わせて共同作業を楽しむ機会が無くなりまして、小学校が閉校となり、子どもと地域の繋がりが無くなってしまいました。空き家が増え、景観・防犯・環境上あまり良くありません。近隣の約六〜七割が高齢者の一人または二人暮らしで、十年、二十年後はどうなってしまうか不安です。

こういった問題は、私の地域だけでなく栗原市全域でも、全国の地方でも同様に起きています。

街(地域コミュニティ)は人で形成されています。お金・建造物で形成されているわけではありません。いくらお金やインフラが充実していても、人がいなければそれは街ではなく単なる「土地」「建造物」となります。十五歳から六十四歳の生産年齢人口が減るということは、結婚・出産・仕事といった人間社会の骨格を成す人材がいなくなる



栗原のまちづくりを考える
Cafe Azuma-re

▶商店街や地域を活性化させる「六日町通り商店街プロジェクト」進行中



ということですが。そしてそれは、街（地域コミュニティ）の消滅に繋がります。

●●●●● 今までにない新しい つながり・取り組み

お金やマンパワーが減っていく縮小社会の中で、「多様・複雑な課題を解決するにはどうすれば良いか」はつきり言ってそんな難しいことは私たちにはわかりません。しかし、その現状の中で、自分たちが出来る最善策をさがすことは出来ます。

一つの例として、昨年、私たちNPO法人Azumareと地元ホテルや企業、高校生がつながり、高校生がプランナーとなって地域資源を活用したウェディングプランを考えるプロジェクト

「高校生未来ミーティング」愛で栗原を熱くしろー」を開催しました。

このプロジェクトを通じて、高校生たちは



▲栗原ならではのウェディングプランを練る



栗原の魅力を再発見し、企画力・プレゼン力・主体性を育みました。企業はCSV（※注1）という新しい価値とビジネスプラン、プランディング（※注2）を得ました。地域は、地元企業の発展と、高校生という地域の未来を担う人材の育成とシビックプライド（※注3）の醸成を図ることができました。

この他にも、行政・商店街組合・商工会・NPOがつながり、地域おこし協力隊制度を活用したプロジェクトで中心市街地の活性化を実施しています。プロジェクトとその他の新しい動きも生まれ、商店街に様々な相乗効果が生まれつつあります。

この二つのプロジェクトは、どちらも今までにない新しいつながりから生まれた新しい企画です。人口も経済も右肩あがりの時代では、こういったプロジェクトは生まれなかったと思います。人口も経済も縮小していく社会では、企

業も行政も地域も、今までと同じやり方を続けていては生き残れません。大手企業ほどそれをいち早く実感して動いています。

企業も行政もNPOも、街（地域コミュニティ）が無くなってしまうたら、元も子もありません。街を元気にするという共通の目的に対して、市民・行政・企業・NPOなどの多様なステークホルダーがそれぞれのメリットとなる利益を得ながら、それぞれが得意とする術を出し合い目的を達成する。この方法こそ今、必用で有効な手法だと思えます。そしてそのチャンスを逃さないことが重要です。だから、まちづくり・地域づくりで成功している地域には、そういった人材や組織がたくさん在るし、集まってもきます。

●●● 人材とマネージメント

「いま栗原に何が必用ですか？」と聞かれたら、私は「人材」と「マネージメント力」と答えます。企業・行政・商店・地域・NPO・学校・教育・福祉・農業・その他すべて、人間がおこなっています。そして、人間があつまり活動すれば、組織マネージメントが必用となります。また、いくら個人のス

キルが高くとも、それを発揮できない組織では宝の持ち腐れとなってしまう。個人と組織マネージメント、両方のスキルが向上することで、事業や活動が成功する確率が高くなり、間違いなく街は良くなるはず。そして、そうなるためには、素晴らしい人・活動・物・学びに出会う場を、たくさんつくる必要があります。同時にそういった場をつくれる人材を育成することも必要です。

二〇一七年度は、場づくりが出来る人材を育成するため、私たち自身が魅力ある有効な活動を行って行くと同時に、きっかけづくり・ノウハウを学ぶセミナー、仲間づくりの交流会等の事業を、たくさんの方に力を貸してもらいたい協力しあいながらおこなっていききたいと思えます。

※注1「CSV」: Creating Shared Value
※注2「ブランディング」: ブランドに対する共感や信頼など、顧客にととの価値を高めていくマーケティング戦略
※注3「シビックプライド」: 都市に対する誇りや愛着。日本語の郷土愛とは少し違うニュアンスを持つ。自分自身が都市を構成する一員であると自覚し、都市をより良い場所にするための取り組みに関わるうとする当事者意識のこと。

NPO法人Azuma-re

〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
市民活動支援センター貸事務室2
●TEL/FAX: 0228-22-1905
●E-mail: azumare2009@gmail.com
●URL: <https://www.azuma-re.net/>

「7年目を迎えた石巻の就労課題とこれから」 ～若者支援の現場から～



認定NPO法人Switch

事務局長

今野 純太郎



石巻市は、宮城県第二の都市として、古くから海運の要所として栄えてきました。中心市街地は旧北上川沿いに発展し、商店街も仙台とは別の独立した商圏として発展しました。

私が子どもの頃は、デパートが複数あり、その周辺に書店、スーパー、土産物屋などが所狭しと立ち並び、週末には商店街を歩くのも一苦勞だったことを憶えています。

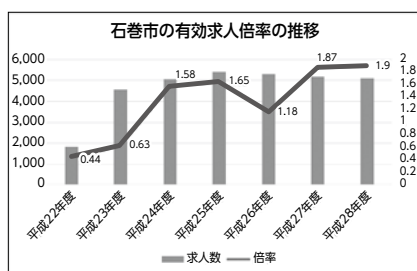
二〇一一年、東日本大震災をきっかけに、ピーク時に一八六、〇〇〇人を超えた人口は一四六、〇〇〇人まで減少し、郊外型大型店の出店などにより、中心市街地はひっそりとしています。

震災時には最大で五万人以上の方が避難を余儀なくされ、二万棟以上の建物が全壊し、死者、不明者数三、六〇〇人という大きな被害を受けた石巻市において、若者が安心して「はたらく」環境は、まだまだ充分ではないのが現状です。石巻市の有効求人倍率は、震災の前後で低く推移していましたが、震災後の復興需要もあり、平成二十四年度以降は高止まりを続けています。

一見「売り手市場」に見える石巻の雇用状況ですが、中身を見るといろいろな課題があることがわか

ります。最も大きな課題となるものが、業種の偏りによる「雇用のミスマッチ」です。石巻の有効求人倍率を業種別に見てみると保安や建設などの仕事は六〜七倍もの求人倍率で、非常に深刻な人材難だということがわかりますが、一般事務や清掃などは〇・四〜〇・九倍と、一件の求人に対して複数の方が応募している状態だということがわかります。

この傾向から、体力に自信のない方や、職場まで車で移動することが出来ない方などが選ぶ仕事の幅が、非常に狭くなっていることがわかります。



●●●環境の変化と若者の抱える課題●●●

私たちはこれまで「ユースサポートカレッジ石巻N.O.T.E」にて「まなぶ」ことや「はたらく」ことに課題を抱えたたくさんの方と出会ってきました。

その中に、沿岸部で被災し、内陸の仮設住宅に移転したまま、三

年ほど引きこもってしまった若者がいました。震災前はいくつか仕事を持ち、家族で暮らすことが出来ていたのですが、家は流出し、来たこともない地域の仮設住宅に暮らすことになりました。近くのコンビニに買い物に行くにも車で十五分程度かかってしまったため、車のない彼は買い物に行くこともままならない日々が続き、体力的な不安も加わり、徐々に仮設住宅の奥に引きこもるようになってしまいました。

もともと石巻の交通の便の悪さ、携帯電話、インターネットの普及などもあり、現在でも仮設住宅の奥に引きこもる若者は多く、これまでに二十名以上の仮設住宅居住中の若者が、石巻N.O.T.Eを訪れました。

●●●小さなきっかけから次の一歩へ●●●

一方で、彼らはゲームやパソコンが大好きで、高いITスキルを持っていたということもあり、週に二・三回、午前中の時間帯で、彼らに体系立てたITトレーニングを提供しました。それまでゲームのためにだけに費やしていた自分のスキルや時間を、「学ぶこと」「はたらくこと」に活かすことが出来ることに気づき、唯一パソコンだけは誰にも負

けないとい
う「武器」に
することが
出来ました。

パソコン
を学ぶには、

石巻NOT
Eに来るた
めに定期的
に外に出な

くてはなりません。週に一・二回、
彼は自分の意志で家から出かける
ようになり、バスや電車での外出
をするようになりました。

このことをきっかけに、彼は職
場体験やインターンシップ、そし
て有給の職業体験プログラムなど
にも参加し、現在は本格的な就労
に向けた最終準備に入っています。

●●●地域の多様性を体感する●●●

また、私たち認定NPO法人S
witchは、二年前から石巻郊
外で小さな農園をスタートしまし
た。ここには「まなぶ」ことや「はた
らく」ことに課題を抱えた方だけ
ではなく、地域とのつながりや、多
様性を感じていただくために、学生
や地域の市民、中には行政職員や
企業人まで、幅広い人たちが集ま
り、お互いが誰かもわからないまま、



◀自分のつよみを活かして

同じ作業を協働で進めて行きます。
震災で家族を失ったおじいさん
が、引きこもりの若者に農業の基
本を教えていたり、他人と対話す
ることが全くできない若者が、気
づいたら二、三人集まって無言で作
業を進めていたり、お互いに何の
偏見もない状態で、一つの作業に没
頭できる場として、農園は機能し
ています。

人は役割

を失った時
点で、その
地域への愛
着を失って
しまいます。
課題を抱え
ている方も
抱えていない方も、仮設住宅に住ん
でいる方も再建した方も、それぞれ
の役割を持ち、同じ場所でも同じ農
作業に関わっていくことで、地域の
多様性を体感するとともに、震災
を体験した者同志として、自然に
語り合うことが出来る場の存在は、
今の石巻になくはない場である
と考えています。



▲農作業を通してつながる

●●●仮設住宅と復興の格差●●●

平成二十九年二月末現在、石巻
市でプレハブ仮設に入居している

方は四、八二三人います。最大時
の二六、七八八人に比べるとだい
ぶ減りましたが、キャリアや経験
がある、再建資金がある、都市部
への人脈がある、など、力のある
人から順番に仮設住宅を退去して
行き、高齢者や障がい者、そして
無業者など、再建力の弱い方がプ
レハブ仮設に取り残されて行くと
いう現象が、現在石巻では起こっ
ています。

仮設住民は、今までの住み慣れ
た土地から急に環境が変化し、学
校や、家族の職業や、近所付き合
い、買い物、移動手段、家計状況
など、多くのことが目まぐるしく
変化して行きます。再建に向けた
大きな不安を抱えながら、それ
でも自分の人生を生きて行かなけれ
ばならない彼らにとって、その土
地で学び続けたり、働き続けたり
することに不安を感じることは、
当然のことかもしれません。

●●●若者たちを地域の担い手に●●●

二〇三〇年には、石巻市の十五
歳から六十四歳の生産人口は、現
在の八七、〇〇〇人から六八、
〇〇〇人に減少し、より多くの高
齢者を少ない若者が支えて行か
なくてはならない時代に突入し

ます。そう
なったとき
に地域を担
う若者に元
気がなかつ
たら、地域
は立ち行か
なくなつて
しまいます。
私たち認



◀イシノマキ・ファームで収穫！

定NPO法人Switchは、こ
の時代を乗り切るためには地域の
あちこちで埋もれそうになっている
若者を様々な方法で外に出てきて
いただき、社会の中で「本物の経験」
を積みながら、将来的に「地域の担
い手」になることが重要であると思
えています。

障害や高齢、地域、年齢、国
籍、出身地などの見えない壁を少
しずつ低くし、誰もが希望を持っ
て「学び」「はたらく」ことが出来る
ような「社会的
包摂」を石巻で
実現すること
で、より多くの
人が地域で活
躍し、持続可能
な地域の仕組
みを作ること
が出来ると思
っています。

認定NPO法人Switch

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-3
東口鳳ビル6階
●TEL : 022-762-5851
●E-mail : info@npo-switch.org
●URL : http://www.switch-sendai.org/

ボランティアと一緒に 仲間の輪を広げよう!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

「ボランティアを探している人たちに、自分たちの活動に関わって欲しい」そんな想いの団体は、ぜひ参加しやすいボランティアプログラムを作ってみましょう!

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)で開催した講座から、そのポイントをいくつか紹介します。

社会の役に立ちたい

ボランティア活動を始めたい人の多くは、社会の役に立ちたいと考えています。当たり前のことのようにですが、なぜボランティア活動をしたのかを知ることが大切

です。

ボランティア活動に参加したい人は、単に団体の労働力として活動に関わりたいたいではありません。団体のミッションに共感し、一緒に活動する仲間として関わりたいのです。ボランティアにとってNPOで活動することは社会貢献の機会であり、一方で団体にとってボランティアを受け入れることは市民目線の貴重な意見やアイデアを活動に取り入れるチャンスでもあります。

ボランティアが活動していくために、NPOは、受け入れ側と

しての丁寧な環境づくりが必要で

参加しやすいプログラムとは

ボランティアプログラムがあれば、ボランティアを募集したり、受け入れたりする際に戸惑うこともありません。まずは日頃の業務のなかで、二時間ほどで区切れる活動を見つけましょう。短時間にするのは、ボランティアが無理なく自由に活動できるようにするためです。また、気軽にできる内容であれば、初めてのボランティア活動であっても安心して一歩踏み出しやすくなります。

例えば、プラザには、団体から寄せられるイベントチラシをパソコンで入力するというプログラムもあります。みやぎNPO情報ネット(以下、情報ネット)に掲載できるよう、データを整える必要があるためです。様々なNPOからの情報を入力するので、市民活動を知ってもらう機会になっています。

ボランティアにとって、活動を通して得るものがあれば、より充実した時間を過ごしてもらうことができます。

NPOのスタッフにとって、ボランティアと一緒に活動することで、自分たちの活動に対する想いを伝える機会にもなります。団体の活動が社会にとって必要であること、その活動をするために必要なことがあったということをしっかりと伝えていきましょう。

プラザでは、館内のボランティア募集情報コーナーや情報ネットのボランティア募集ページで市民に向けてボランティア情報を発信することが出来ます。ぜひ活用して、仲間を見つけましょう!

ボランティア募集情報



▶ボランティア募集情報を随時紹介しています

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

NPOのための会計・税務相談

4/18(火)
5/26(金)

13:00~17:00

NPOのための会計監査講座

4/19(水)

13:30~16:30

NPOのための会計初級講座

5/19(金)

13:30~16:30

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者・認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511

●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp

●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

平成29年度 地域福祉振興助成

- 助成対象：障がい者を支援する以下の取り組み。
新規事業立上げに必要な活動運営費、環境整備に必要な各種工事費・物品購入費。障がい者の支援・地域福祉に関する調査・研究・出版費。障がい者を支援する人材育成・啓発を目的とした講演会・講習会等の企画開催費。
- 対象団体：障がい者を支援する福祉活動、ボランティア活動に取り組み、平成28年度に当財団の助成を受けていない団体・グループ。
- 助成金額：1団体あたり上限100万円(助成対象費用の80%を助成)
- 募集締切：4月20日(木)
- 連絡先：公益財団法人木口福祉財団事務局
TEL：0797-21-5150
URL：<http://kiguchi.or.jp/>

2017年度 東日本大震災特別助成

- 助成対象：(1)地域安全事業
 - ①地域社会との連携による安全・安心なまちづくりを図るための活動
 - ②子どもの安全を図るための活動
 - ③女性を守るための活動
 - ④高齢者を守るための活動
 - ⑤少年の非行防止と健全育成を図るための活動
 - ⑥犯罪被害者を支援する活動
- (2)団体基盤整備事業
現に「地域安全事業」を行っている団体の財政基盤を整備する事業
- 対象団体：岩手県、宮城県、福島県内に所在している公益法人、NPO、ボランティア団体・グループ(町内会やPTA含む)など、公益事業・非営利活動を行う団体(法人格の有無不問)
- 助成金額：1事業につき上限50万円
- 募集締切：4月28日(金)17:00必着
- 連絡先：公益財団法人日工組社会安全研究財団
東日本大震災特別助成係
E-mail：tohokujosei@syaanken.or.jp
URL：<http://www.syaanken.or.jp/>

2017年度 公益信託

富士フィルム・グリーンファンド助成

- 助成対象：日本国内で行われる、営利を目的としない以下の活動・研究
・自然環境保全もしくは自然とのふれあい活動
・身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究
- 対象団体：上記活動及び研究の実績があり、発展的な活動や研究を行う団体・個人
※要件の詳細は要項をご確認ください。
- 助成金額：申請内容や助成金の使途を踏まえて査定し、助成金を決定(上限なし)
(件数は8件程度、助成総額は850万円)
- 募集締切：5月8日(月)同日消印有効
- 連絡先：公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局
TEL：03-6659-6310
URL：<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/1.htm>

平成29年 東北電力 「東北・新潟の活性化応援プログラム」

- 助成対象：東北6県と新潟県の地域産業の振興や、地域コミュニティの再生・活性化、交流人口の拡大など地域課題解決に資する自主的な活動。
- 対象団体：東北6県と新潟県の団体が主体となっている同地域での活動であること。
地域課題解決に資する活動を2年以上行っており、今後も継続する団体の活動であること。
※なお自治体や営利を主たる目的とする団体、個人の活動は対象外。
- 助成金額：特別助成金(1団体)100万円
助成金(6団体)30万円
- 募集締切：5月10日(水)必着
- 連絡先：東北電力株式会社
広報・地域交流部 地域共生グループ
TEL：022-799-6061
URL：<http://www.tohoku-epco.co.jp/sprogram/>

公益財団法人未来の東北博覧会 記念国際交流基金助成金

- 助成対象：国際交流事業、国際協力事業、多文化共生推進事業。詳細は、下記URL参照。
- 対象団体：宮城県内に主たる事務所を有する団体。なお、団体の構成員の半数以上が宮城県内に住所を有し、活動するもの。
※同一年度の助成回数は、1事業者につき1回限りとする。
- 助成金額：1団体上限100万円(総事業費の1/2を限度)
- 募集締切：5月10日(水)
- 連絡先：TEL：022-275-3796
URL：http://mia-miyagi.jp/grant_kikin.html

2017年度自然体験活動支援事業

「第16回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

- 助成対象：子どもたちが参加する、自然の中での体験活動。ユニークさと創造性にあふれ、高い教育効果が得られる活動。各回10名以上が参加する企画。
- 対象団体：①学校部門：小・中学校または、小・中学校より委託・協力・協働等によって当該活動を主催する団体。小・中学校において授業や課外授業の一環として行われる活動。
②一般部門：定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、当該活動を主催する団体。
- 助成金額：①文部科学大臣賞(1校)副賞100万円+チキンラーメン1年分優秀賞(1校)副賞50万円+チキンラーメン半年分
②安藤百福賞(1団体)副賞100万円+チキンラーメン1年分優秀賞(1団体)副賞50万円+チキンラーメン半年分
- 募集締切：5月17日(水)消印有効
- 連絡先：公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団
「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」係
TEL：072-752-4335
URL：<http://www.shizen-taiken.com/>

- 内 容：フラワーセラピーとは…。
実技(ボンネットかごにアレンジ)
- 参 加 費：1,000円(花材費)
- 持 ち 物：ハサミ、筆記用具
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み
- 主 催：NPO法人フラワーセラピー研究会
- 連 絡 先：仙台地区担当：上野
TEL：090-9428-4342 FAX：022-274-0961

TEL/FAX：022-389-1620
E-mail：esperanto@goo.jp
URL：http://sendaiesperantokai.jimdo.com/

4/29 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

20世紀アーカイブ仙台では、昔の写真や8ミリ映像の収集・保存を行っています。集まった写真の中には、どこを撮ったのか、いつごろのものか、わからないものがたくさん。会期中、そんな写真を会場に展示しますので、皆さんが知っている情報を教えてください。

- 日 時：第1期/4月29日(土・祝)～5月7日(日)
9:00～22:00(※最終日は17:00まで)
第2期/5月9日(火)～6月18日(日)
9:00～22:00
- 場 所：せんだいメディアテーク(仙台市青葉区春日町2-1)
第1期/1階 オープンスクエア
第2期/7階 ラウンジ ※5月25日(木)は休館日
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
せんだいメディアテーク
- 連 絡 先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
E-mail：npo@20thcas.or.jp
URL：http://20thcas.or.jp/

4/29 ホントの国際語って「ようこそ、エスペラントへ」

国や民族の違いにかかわらず、人と人とが対等の立場で交流することのできる国際共通語エスペラントをご存じですか？エスペラントはとてもやさしい言葉です。私たちがエスペラントを使っておこなっている、さまざまな国際交流の様子をご紹介します。

- 日 時：4月29日(土・祝) 14:30～16:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：エスペラント語って？ どう使う？ どう学ぶ？
話してみよう、聞いてみよう。フランスからのお客様のエスペラント語ミニ講演(通訳付き)、
いろいろな本や雑誌、質問コーナー など
- 参 加 費：無料
- 主 催：仙台エスペラント会
- 連 絡 先：担当：手塚

5/17 平成29年5月期 傾聴ボランティア養成講座in仙台市 (3回連続講座)

東日本大震災から6年。孤独感や心の病を抱えている方々が増えてきています。人は誰かに話を聞いてもらうことで心が軽くなり、浄化され悩みの半分は軽減されると言われています。当会では、傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添うことを心掛けています。日常の中にも活かせる「傾聴」、あなたもボランティアしてみませんか？

- 日 時：1日目 5月17日(水)
「傾聴の基本」「共感と受容」
2日目 5月24日(水)
「傾聴のスキル」「ロールプレイング」
3日目 5月30日(火)
「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」
各10:00～15:00の3日間コース
※3日間の内欠席した日の補講講座があります。
- 場 所：仙台市福祉プラザ(仙台市青葉区五橋2-12-2)
1日目・3日目：1階 プラザホール
2日目：11階 第1研修室
- 対 象：ボランティアとして活動できる方
※精神疾患で治療中の方は、ご遠慮願います。
- 受 講 料：6,000円(お振込み後の受講料は返金不可)
受講料の振込み：お申込み後3日以内に、下記に受講料を振込み。
ゆうちょ銀行 記号番号 02220-8-134520
※通信欄に住所、氏名、ふりがな、連絡先、「養成講座受講料」と明記。尚、お振込み票を講座初日に持参ください。
- 定 員：30名程度(定員に達し次第締切)
- 修 了 証：3日間全過程出席の方に修了書を発行
- 持 ち 物：筆記用具、昼食(各自持参)、動きやすい服装
- 申 込 先：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
申込み時、氏名、連絡先、年齢、講座に参加したいと思った理由をお知らせください。
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連 絡 先：携帯：090-6253-5640(森山)
FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaieicho.web.fc2.com/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載は無料です!
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-NPO.gr.jpまで

4/19 NPOのための会計監査講座 ～プロが伝える、監査のやり方・受け方～

「はじめて監事になったけど、いつ何をすればいい?」「監査でミスが見つかったらどうするの?」「監査を受ける時に準備するものや注意することは?」信頼を高め、クリーンな運営に欠かせない監査。初めて監事になる方も、おさらいしたい方も、この機会に一緒に学びましょう!

- 日 時: 4月19日(水) 13:30～16:30
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師: 橋本 潤子氏(公認会計士)
- 定 員: 20名(先着順)
- 対 象: NPO法人の理事・監事・会計担当者、関心のある市民活動団体のメンバーなど
- 持 参 物: 『NPO法人のための業務チェックリスト』、電卓、筆記用具
- 受 講 料: 1,000円(税込)
- 資 料 代: 500円(税込)
※『NPO法人のための業務チェックリスト』をご持参いただければ資料代不要。お持ちでない方は、当日受付でご購入ください。みやぎNPOプラザの窓口でも購入可能。
- 申込方法: 参加申込書に必要事項を記入のうえ、下記連絡先にFAX・E-mailで申込み。参加申込書は下記URLからダウンロードできます。
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)
URL: http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_k20170419.html

4/20 本人・若年期認知症の方の集い

本人・若年期認知症の方を中心に、楽しんでいただける企画を用意した集いを開催します。認知症の相談もできます。一緒に考えましょう。

- 日 時: 4月20日(木) 10:30～15:00
- 場 所: 仙台市泉区南光台市民センター
(仙台市泉区南光台7-1-30)
- 対 象: 若年期認知症の方。ぜひご相談ください。
※見学自由
- 参 加 費: 無料(※昼食代500円程度)
- 申込方法: 下記連絡先にTELで問合せ
- 主 催: 公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連 絡 先: 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
宮城県社会福祉会館2階
TEL/FAX: 022-263-5091
(相談日: 月～金 9:00～16:00・祝休日は除く)
URL: <http://www.miyagisibu-alz.org/>

4/20 高齢者のための「Windows10 操作」講座の 受講生募集

購入したパソコンがWindows 10で操作に戸惑っている方や、アップグレードして操作に戸惑っている方を対象に絞った講座です。

- 日 時: 4月20日(木) 10:00～12:30
4月21日(金) 13:30～16:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

- 対 象: 60歳以上
- 定 員: 12名(定員達し次第締切)
- 参 加 費: 3,000円(テキスト付)
- 申込方法: 下記連絡先に、TELで申込み。
お申込みの際、氏名、住所、連絡先、希望受講日をお知らせください。
- そ の 他: 本講座は受講者が3名以上の場合開催。
- 主 催: NPO法人仙台シニアネットワーク
- 連 絡 先: 担当: 加藤
TEL/FAX: 022-395-7921
E-mail: ssnc06@ybb.ne.jp
URL: <http://ssnc.main.jp/public/>

4/22 セクシュアリティ夜間学校 特別授業 共に暮らす性的マイノリティ～地元当事者スピーカー のメッセージと仙台・宮城地域の課題～

宮城県、仙台市、石巻市などの男女共同参画基本計画には、性的指向や性自認に関する課題を抱えた性的マイノリティへの施策が盛り込まれました。しかし、性的マイノリティ当事者の存在が十分に地域に認知されているとは言えません。地域団体・行政機関等と当事者の間でのより一層の情報交換等の連携ができる場を作りたいと、今回の学習会を企画しました。

- 日 時: 4月22日(土) 14:30～17:00
- 場 所: エル・ソーラ仙台 大研修室
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階)
- 内 容: 【第1部】地元性的マイノリティスピーカーからのメッセージ
【第2部】仙台・宮城地域における課題と必要とされる支援
【終了後】情報交換会(17:00～18:00)
- 対 象: 宮城県・東北地方各自治体の男女共同参画担当職員、女性、子ども、障がい者、労働者等支援施設職員、各種相談機関相談員、臨床心理士・社会福祉士など対人援助職、NPO、人権擁護委員・民生委員等地域の援助職、企業CSR担当者、労働組合、性的マイノリティ当事者、セクシュアリティの課題に関心のある県民・市民
- 参 加 費: 500円(資料代)
- 申込方法: 下記連絡先にE-mailで申込み。申込み時、①氏名(呼び名)、②連絡先、③所属、④職種をお知らせください。
- 申込締切: 4月20日(木)
- 主 催: 東北HIVコミュニケーションズ
レインボー・アドボケイツ東北
- 連 絡 先: 担当: 小浜
TEL: 080-5224-7413
E-mail: rainbow1000dai-radv@yahoo.co.jp
URL: <http://blog.canpan.info/thc/>
URL: <http://blog.canpan.info/touhokurainbowadv/>

4/26 フラワーセラピスト養成講座(初級) 説明会

花が好き、花を通して仲間をつくり、花でソーシャルライフにチャレンジしたい方、ぜひ、フラワーセラピー研究会の活動に参加してください。その第一歩が養成講座(初級)を受講することから始まります。開講に先立ち、下記日程で説明会を行います。

- 日 時: ①4月26日(水) 10:00～12:00
②4月29日(土・祝) 13:00～15:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ ※両日とも
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

オリエンテーション9月(東京にて2日間)

研修 10月10日~11月3日(予定)

帰国後報告会 11月末(東京)

- 対象者: NPOのスタッフ、社会起業家、企業のCSR担当、行政の社会貢献担当などの女性リーダー
- 応募要件:
 - ・5年以上の職務経験
 - ・日本社会に変革をもたらすための明確なビジョン
 - ・強いリーダーシップ
 - ・意欲的で行動を重んじる姿勢
 - ・アメリカの非営利、ソーシャルセクターでの組織運営およびリーダーシップへの高い関心
- 申込方法: ホームページ(<http://jwli.org/application/>)から申込み
- 申込締切: 5月8日(月)
- 主催: フィッシュ・ファミリー財団
- 日本側運営支援: 公益財団法人米日カウンシル-ジャパン
- 問合せ: jwli@fishfamilyfoundation.org (英語のみ)

仙台市ひきこもり地域支援センター ほわっと・わたげ ひきこもりで悩んでいるご本人・ご家族へ 電話個別相談・面談

まだおうちで一人で頑張っているご本人やご家族と、いつか出会える日を、私たちわたげの会は待っています。この先のことを一人で考え込み抱えないで欲しいと願っています。勇気を出すこと・元気を出すことは簡単ではないかもしれませんが、一緒に考えていきます。まずはお電話ください。

- 相談TEL: 022-285-3581
- 主催: NPO法人わたげの会
- 連絡先: 〒982-0001 仙台市太白区八本松1-12-12
URL: <http://watage.or.jp/index.html>

イ ベ ン ト

4/15 一人のアメリカ人が米軍への“オモイヤリヨサン”の 疑問に挑む!!ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」

なぜ日本人がここまでアメリカ軍を思いやらなければならぬのか? アメリカとの条約では一切義務付けられていない「思いやり予算」は1978年から開始し、日本人の税金から在日米軍へ6兆円が投入されてきました。この映画では、「思いやり予算」の不条理さと矛盾を様々な視点から鋭く、コミカルに日本人に問いかけます。

- 日時: 4月15日(土)
 - 午前の部 9:30~12:00
 - 午後の部 13:30~16:00
 - 夜の部 17:30~20:00
- 場所: 吉野作造記念館 研修室(大崎市古川福沼1-2-3)
- 定員: 各回100名
- 参加費: 前売り一般800円、高校生以下300円
当日一般1,000円、高校生以下500円
- 申込方法: 前売販売・予約・問合せは下記連絡先まで
- 主催: オオサキ映画自主上映実行委員会
- 連絡先: NPO法人古川学人
〒989-6105 大崎市古川福沼1-2-3
吉野作造記念館内
TEL: 0229-23-7100
E-mail: osaki.cinemas@gmail.com
URL: <http://www.yoshinosakuzou.jp/>

4/15 プロが教えるより効果的な 情報発信のための入門講座

チラシづくりやデザイン、ウェブをどうすればもっと活用できるのか? そんな悩みを解決! プロのクリエイターから直接学べる講座です。

- 日時: ①プロに学ぶ写真撮影のツボ!
4月15日(土) 13:30~15:00
②ウェブサイトをローコストで作る方法
4月15日(土) 15:15~16:45
③伝わる印刷物デザインって何?
4月22日(土) 13:30~15:00
④PowerPointでイベントチラシをデザインする
4月22日(土) 15:15~16:45
持ち物: PowerPoint2010以降がインストールされているパソコン
※連続講座ではありません。
ご希望の講座を選択ください。
- 場所: せんだいメディアテーク 7階 会議室a
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 定員: 各回10名(先着順)
- 参加費: 各講座1,000円(当日キャンセルの場合は、キャンセル料をいただきます)
- 申込方法: 連絡先にTEL・E-mail または申込みフォームに、氏名、連絡先(Tel/ E-mail)をご記入のうえ受講する講座の日程を記載し申込み。
【申込みフォーム】<http://mediadesign.jp/2017nyu-mon/>
- 主催: 一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先: TEL/FAX: 022-224-5308
E-mail: kouza@mediadesign.jp
URL: <http://mediadesign.jp>

4/15 大切な人を亡くした方のわかちあいの会 …大切な人を亡くしたとき…

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所: ◆仙台会場: 4月15日(土)
14:00~16:30【毎月 第3土曜日】
場所: あしなが育英会 仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
◆気仙沼会場: 4月22日(土)
13:30~16:00【偶数月 第4土曜日】
場所: 気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
(気仙沼市東新城2-2-1)
◆石巻会場: 5月13日(土)
14:00~16:30【毎月 第2土曜日】
場所: カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- 対象: 大切な方をなくされた方、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費: 無料
- 申込方法: 事前の申込みは、必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡頂けると助かります。下記連絡先にTEL・E-mailでお申込み下さい。
- 主催: NPO法人仙台グリーフケア研究会
- 連絡先: 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内事務ブース
TEL: 070-5548-2186
E-mail: griefoffice@gmail.com
URL: <http://www.sendai-griefcare.org/>

- 洗濯していないもの、汚れのひどいもの
- スペース：1シート/2.5m×2.5m
※販売品は家庭で不用になった品物を中心にお
願いします。
※商売がらみの販売や業者の方の応募は固くお
断りします。
 - 定員：限定50シート
 - 参加費：3,000円
 - 申込方法：下記連絡先まで「代表者氏名、住所、TEL（当日
も連絡可能な番号）/FAX」「参加人数」「販売品名」
を明記の上、往復はがき・E-mail（携帯メール
不可）・FAXにて申込み（FAXでの申込みの場合
はFAX番号も明記）
 - 申込締切：4月12日（水）
 - 主催：ACT53仙台
 - 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5
コーポラス島田A-105
TEL：070-5322-2976 FAX：022-295-2910
E-mail：act53sendainakama@yahoo.co.jp

泉こどもの日フェスティバル

「子どもフリーマーケット」出店者募集

子どもたちが自らの力で準備し、お店を出すことで、お金に
関する感覚を養い、物を大切にすることを学ぶフリーマ
ーケットです。お客さんと対面することでコミュニケーション
を取る楽しさも知ることができます。ぜひ、ご参加ください！

- 日時：5月5日（金・祝）10:30～14:30
- 場所：泉中央駅前広場ペデストリアンデッキ
- 内容：18歳までの子どもが店長となるフリーマーケット
- 参加資格：18歳まで（おとなの同伴不可。会場には大人の
係員が安全を確保します）
- 募集数：70ブース（先着順）
※1ブース1m×1m ひとり2ブースまで可能
- 参加費：1ブース200円 当日徴収（車乗り入れ不可）
- 販売できるもの：おもちゃ、絵本、手作り品など（生き物・食べ物）は不可
- 申込方法：往復はがきに「子どもフリーマーケット参加希望」
と、下記事項①～⑦を記入の上、事務局宛に郵送。
後日返信用はがきにて詳細を連絡。
①参加者名②住所③TEL④年齢⑤学校・学年
⑥希望ブース数⑦15歳以下は保護者名と保護者印
- 申込締切：4月27日（木）必着

- 主 催：NPO法人チャイルドラインみやぎ
- 連絡先：事務局（往復はがき送り先）
〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
スカイハイツ102
NPO法人チャイルドラインみやぎ内
泉こどもの日フェスティバル実行委員会
子どもフリーマーケット係
TEL/FAX：022-279-7210（平日10:00～17:00）
URL：http://cl-miyagi.org/

事業案内

フラワーセラピーショップ

当研究会のマスコットフラワーのオーストラリア産ワイルド
フラワーを使った作品販売を行います。随時、フラワーセラ
ピー体験教室を実施します。ぜひ、研究会の理念『花でコミュ
ニケーション』を実感してください。

- 日時：4月25日（火）～5月2日（火）10:00～15:00
※4月30日（日）、5月1日（月）はお休み
- 場所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 内容：①オーストラリアンワイルドフラワーキットの販売
②手造り花飾り（リース・壁掛・かご盛）
③フラワーセラピー体験教室
参加費：1,000円（花材費）
申込み：随時
申込方法：下記連絡先へ問合せ
- 主催：フラワーセラピー研究会仙台地区
- 連絡先：090-9428-4342（上野）

Japanese Women's Leadership Initiative 2017年度プログラム-日本女性をエンパワーし、 日本社会に変革とイノベーションを-

このプログラムは、今後活躍が期待される女性リーダーたちを、
さらに行動力のあるリーダーへと育成します。研修は、東京と
ボストンで行われます。ボストンではNPO、社会起業家やイン
キュベーター数団体を視察訪問し、組織運営のノウハウやファ
ンドレイジングの手法、リーダーシップなどを学びます。

- 実施内容：面接 6月17・18日（東京にて） 最終選考 6月末

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請（設立、定款変更、合併）に
おける申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。
右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分2月11日～3月10日 仙台市所轄分2月11日～3月10日
団体名	所在地	活動内容
宮城県等 アンソレイユ	名取市	高齢者、生活保護者、知的障害者、精神障害者、 子育て世帯等の社会的弱者に対して、日常生活 及び社会生活を総合的に支援するための法律 に基づく障害福祉サービス事業等を行うもの。
仙台市 日本アイグラス リサイクリングセンター	青葉区	不要となった眼鏡をリサイクル用に回収する 事業を行うボランティア団体等と連携し、 中古眼鏡を使用可能な状態に再生する作業 を担当する就労支援事業所に斡旋する事業 再製された中古眼鏡を海外医療奉仕団体に 斡旋する事業 他
		認証日
		3/2
		2/23

宮城県等所轄において、2017年2月11日～3月10日までにNPO法人の
設立を新しく申請した団体はありません。

宮城県のNPO法人数

※2017年3月10日現在

804団体

- 宮城県等所轄：391団体 ●仙台市所轄：413団体

【仙台市 認定】新たに認定NPO法人を取得した団体

- NPO法人子どもの村東北（青葉区）
- NPO法人アフタースクールぱるけ（青葉区）

※認定（仮認定）NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。
認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

杜の伝言板ゆるる 有給スタッフ募集

杜の伝言板ゆるるでは、NPO・市民活動やボランティアに参加するきっかけとなる情報誌の発行や担い手の人材育成プログラム、NPOの会計支援、NPOの組織運営及び事業企画のアドバイスなどを行い、NPOが継続的に活動しやすい環境となるよう活動をしています。

NPOや市民活動に関心があり、積極的に人と出会い、地域のニーズを感じ、事業を企画・運営する方を募集しています。

- 募集定員：2名
- 業務内容：事業企画立案および運営、情報誌編集、NPO支援施設(みやぎNPOプラザ)運営
- 勤務時間：法人事務局勤務 9:00～18:00(休憩1時間)
みやぎNPOプラザ勤務8:30～21:45
(実労働時間8時間+休憩45分のシフト制)
※週休2日(法人事務局：原則土日、みやぎNPOプラザ：月曜+1日)12/29～1/3
※勤務6ヶ月後から有給休暇有
- 勤務地：法人事務局(仙台市宮城野区榴岡3-11-6 B-6)、みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)のいずれか
- 雇用期間：契約日～平成30年3月31日(環境が整えば契約更新有)
- 給与・待遇：168,000～190,000円
※試用期間6ヶ月(賃金相違なし)
通勤手当 実費(上限15,000円/月)
雇用保険、健康保険、厚生年金、労災加入
- 申込方法：事前連絡の上、履歴書(自筆・写真付)を下記法人事務局まで郵送または持参。
- 募集主体：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：連絡先は、裏表紙をご覧ください。

お知らせ

仙台市の地域活動・市民活動に対する支援制度のまとめサイトができました！

仙台市では地域活動や市民活動等を行っている方、団体等に対してさまざまな支援を行っており、これら支援制度の一覧を4月から市ホームページに掲載しています。利用できる支援制度が活動の分野から探せるようになっていきますので、皆様の活動にぜひお役立てください。

- 掲載ページURL：<http://www.city.sendai.jp/kurashi/manabu/np/shimin/shiensedo/shien.html>
※平成29年4月1日現在の内容を掲載しています。
※制度の内容や募集期間の詳細については、一覧に掲載されている各制度の問合せ先へご確認ください。

- 連絡先：仙台市市民局市民協働推進課
TEL：022-214-1080

東北の創造力を発掘する

第3回 Art to You!東北障がい者芸術公募展 作品募集

障がいのあるなしに関わらず、人は日常生活の中で、自分の存在を表現したい、と願っています。日常のファッション、スポーツ、音楽、ダンス…、その表現方法は多岐にわたります。当公募展は、東北という地域に暮らし、その生活の中で何らかの方法で自己表現している方々の作品を見つけ、「表現を認め合うこと」の面白さを皆さんと実感したいと願っています。

- 募集期間：4月10日(月)～5月19日(金)当日消印有効
- 応募資格：社会生活においてなんらかのハンディをもち、東北に居住及び東北出身の人。年齢制限なし。
- 応募作品：平面及び立体作品で、ひとり3点まで。過去に受賞歴のない作品に限ります。
- 表彰：大賞1点、優秀賞6点、企業賞13点、オーディエンス賞1点(ご来場の皆さんの投票で決定)
※入賞作品の表彰は、7月9日(日)13:00～実施。
- 応募方法：下記URLにある出品申込書に必要事項を記入し、作品の写真と一次選考結果通知書用封筒(応募者の住所、氏名を明記し、封筒(長形3号)・82円切手貼付)を郵送。※詳細は下記URL参照
- 主催：一般社団法人東北障がい者芸術支援機構
- 連絡先：〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18
白蜂広瀬通ビル5階
TEL：022-266-8533 FAX：022-224-3429
E-mail：info@art2you.org
URL：<http://www.art2you.org/>

第52回もったいない市

地球にやさしい人にやさしいリユースマーケット出店者募集

家庭で不用になったものは、楽しくリユースしましょう！

- 日時：4月29日(土・祝) 10:00～15:00(雨天中止)
- 場所：勾当台公園 市民広場
- 内容：・リユースマーケット
家庭の不用品やリメイク品を楽しく販売
・古布の山コーナー
不用の衣類やシャツ・タオルなど、お持ちください。きもの・ふるしきや毛糸も集めています。(透明な袋などに入れてください)
※持ち込めないもの
わたの入ったもの(ジャンパー、キルティング、ぬいぐるみ等)、カーテン、生地、ハギレ等、フリース、ビニール、革製品、制服、作業服、

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2017.3.16現在) 敬称略

●正会員 51名

<仙台市> ●大久保 朝江 ●庄司 真希

●賛助会員 102名

<仙台市> ●大久保 有希子

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口 3,000円
賛助会員NPO	一口 5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

3月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

第52回もったいない市 地球にやさしい人に やさしいリユースマーケットボランティア募集

「物を大事にしましょう。ごみを作らない暮らしをしましょう。そして家庭で不用になったものは、楽しく賑やかにリユースしましょう」と始まった「もったいない市」も今年で52回目。当日ボランティアを募集しています！

- 活動日時：4月29日(土・祝) 10:00～15:00(雨天中止)
- 活動場所：勾当台公園 市民広場
- 活動内容：古着の仕分け、販売
- 申込方法：TEL・E-mailで事前申込み
- 募集主体：ACT53仙台
- 連絡先：TEL：070-5322-2976
E-mail：act53sendainakama@yahoo.co.jp

NPO法人FOR YOUにここにこの家ミニデイ 食事有償ボランティア募集

『ここにこの家』は、子どもも高齢者の方も何らかの障がいを持つ方も、地域みんなが気軽に集い、交流し支え合う憩いの場所「ここにこミニデイ」を運営しています。今回は、ここにこミニデイサロンの活動する食事有償ボランティアを募集します。

- 募集定員：1名
- 活動日：月曜日～木曜日 ※活動日要相談
- 活動時間：9:00～14:00
- 活動場所：FOR YOUにここにこの家
(仙台市太白区四郎丸字神明16-2)
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せ
- 募集主体：NPO法人FOR YOUにここにこの家
- 連絡先：TEL：090-9532-1248(担当：小岩)
URL：http://www.k4.dion.ne.jp/~nikoniko/

有償ボランティア募集

あなたの時間を活かしてみませんか？「ゆうあんどあい」は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた(YOU)とわたし(I)で助け合いの輪を作り、地域に根ざした活動を広げ、安心して暮らせるネットワーク作りを目指しています。

- 活動内容：①家事援助(主に高齢者対象で掃除、食事作り)、病院通院の介助、入院時の洗濯等。
②配食お弁当の調理補助
- 活動場所：主に仙台市内
- 活動時間：活動できる曜日と時間を登録
※2時間程度の基礎研修を受講
- 入会金：2,000円
- 年会費：3,000円
- 活動謝礼：800円(1時間)

- 申込方法：下記連絡先へ問合せ
- 募集主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：〒983-0841 仙台市宮城野区原町2-1-53 原町の長屋
TEL：022-292-7551
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/

有給スタッフ募集

NPO法人FOR YOUにここにこの家 事務局スタッフ募集

『ここにこの家』は、子どもも高齢者の方も何らかの障がいを持つ方も、地域みんなが気軽に集い、交流し支え合う憩いの場所として『みんなで手をつなごう』『みんなで支え合おう』を念願に地域福祉に取り組んでいます。私たちとともに活動する方を募集しています！

- 募集定員：1名
- 業務内容：法人事務局での事務・経理
- 勤務時間：9:00～15:00
- 勤務地：NPO法人FOR YOUにここにこの家事務局
(仙台市太白区四郎丸字神明16-2)
- 給与・待遇：850円～900円(試用期間3ヶ月) 労災保険加入
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せ
- 募集主体：NPO法人FOR YOUにここにこの家
- 連絡先：〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字神明16-2
TEL：090-9532-1248(担当：小岩)
URL：http://www.k4.dion.ne.jp/~nikoniko/

NPO法人Azuma-re スタッフ募集

まちづくりが仕事です。「地域を元気にしたい!」そんな想いをもった方を募集しています。経験は問いません。コミュニティデザイン・まちづくりコーディネーター・地域づくりプランナー・ソーシャルワーク・その他、まちづくりに興味のある方、お待ちしております。

- 募集定員：1名
- 業務内容：当法人が管理・運営する「栗原市市民活動支援センター」の受付、事務、講座企画・実施、その他市民活動支援に関する業務。
- 勤務時間：シフト制(週5日、40時間勤務)
①8:30～17:30 ②12:30～21:30 休憩60分
※休日：日曜日+1日、年末年始(12/30～1/3)
- 勤務地：栗原市市民活動支援センターを中心とした栗原市内
(栗原市築館伊豆2-6-1)
- 給与・待遇：月給140,000円～160,000円
雇用保険、健康保険、厚生年金、労災加入
- 申込方法：事前連絡(TEL・E-mail)のうえ、写真付履歴書を下記連絡先まで郵送。
- 募集主体：NPO法人Azuma-re
- 連絡先：〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
市民活動支援センター貸事務室2
TEL/FAX：0228-22-1905
E-mail：azumare2009@gmail.com
URL：https://www.azuma-re.net/



みやぎの居場所づくり助成

この度、真如苑では宮城県内の地域において支え合いの地盤が醸成され、地域が発展していくお手伝いができればと考え、「みやぎ居場所づくり助成」を創設しました。この助成は福祉活動に関わる継続的な居場所づくりの地域活動を支援・育成することを目的としております。多くの皆様のご応募をお待ちしています。

対象活動

高齢者、障がい児・者、児童、女性、青年など、その人らしく過ごせるよう、様々な課題を支援するための居場所づくりをする民間団体及びボランティアグループによる活動に助成をします。

※イベント型ではなく、継続的に（おおむね週1回以上）、居場所を提供し、安定した活動を行っている団体を優先します。

助成団体

宮城県内で活動し、概ね1年以上の活動実績がある非営利及び公益的な活動をする団体およびグループ（法人格の有無は問わない）。

※政治または宗教布教を目的とする活動およびそれらの活動と連動性、一体性を持つ活動は対象としません。

助成金の額

1件あたり上限30万円、下限10万円（助成金総額150万円） 平成29年5月15日（月）消印有効

応募締切

応募にあたっての注意事項

詳細は下記URLをご確認ください。助成金申請書など必要書類も下記URLからダウンロードできます。

URL:<http://www.ibasyo-josei.jp/>



問合せ・書類送付先



みやぎの居場所づくり助成事務局（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる）

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

◆TEL:022-791-9323 ◆E-mail:koubo-miyagi@ibasyo-josei.jp

会計サポーター派遣 「経理事務代行」活用しませんか！

経理担当人員の確保ができない、経理が苦手…そんな悩みを持つNPOの方、経理をお引き受けします！

— 経験豊富な担当者 —

NPO法人会計の知識と、長年の会計・経理経験を持つ会計サポーターが訪問、担当させていただきます。

— 団体に沿った支援 —

はじめに打ち合わせの時間を取らせて頂き、ご希望に沿った内容をご提案させていただきます。

支援内容

- 仕分けや帳簿の作成に関するアドバイス
- 会計ソフトの導入支援
※会計ソフトの初期設定につきましては別途費用をご負担いただきます
- 記帳代行
会計伝票の作成・会計ソフト等の入力
- 領収証・請求書整理
証憑書類の貼付・ファイリング
- 決算書作成
活動計算書、注記、貸借対照表など財務諸表作成については別途10,800円ご負担いただきます。
- ※ 税理士業務（税務書類の作成、税務相談）等はお受けできません

【対 象】

仙台市内のNPO法人

※仙台市外の法人はご相談ください

【費 用】

4,860円/月～ 依頼内容により相違

※実費分の交通費をご負担いただきます

※年間登録（10,800円）が別途必要です

【申込方法】

下記までTELかメールでお問合せください

● 問合せ先 ● 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 連絡先は、下記をご覧ください。